

7月15日（土）開催の新潟大学医歯学総合病院 平成30年度歯科医師臨床研修プログラム説明会には、多数のご参加をいただき誠にありがとうございました。本院歯科医師臨床研修に興味を持ってくださったことに加え、感想・コメントに多くの御礼コメントをいただき重ねて感謝申し上げます。次年度以降も今年度同様、参加者の皆様に満足していただけるような説明会を開催できるよう、引き続き改善努力を行いたいと思います。

以下、説明会後のアンケートに寄せられた質問にお答えいたします。

なお、現時点において回答することが難しい質問につきましては割愛させていただきましたので、ご了承ください。

【 質問と回答 】

Q：患者さんに治療を行う際に、研修医が治療計画を立てるということでしたが、その際に先生方にアドバイスをいただければと思うのですが、より専門の診療科の先生にお聞きすることができませんでしょうか。

A：プログラムA、Bとも担当の指導歯科医が相談相手になります。指導歯科医との相談の結果、他の指導歯科医に相談する必要がある場合にはもちろんそのように対応することになりますが、研修歯科医が個人的に相談に質問することも可能です。

Q：新潟大学として訪問診療は行っているのでしょうか。

A：共通研修に含まれる口腔リハビリテーション研修の中で施設を訪問し、食事介助や口腔ケアを実施する機会がありますが、訪問診療は行っていません。

Q：できれば、毎年何名の方が新潟大学病院の臨床研修を受験しているのか教えていただければありがたいです。

A：年度によって採用希望者の数は変わりますので正確にお答えすることはできませんが、これまで募集定員の数を下回ったことはありません。

Q：小児歯科学科の説明では、研修期間中に座学があるというお話をされていましたが、歯周病科ではあるのでしょうか。

A：歯周病科の研修には集団で講義を聞くスタイルはありません。指導医の指導のもとで個々の研修医に必要な研修をしていただきます。その中には知識の習得も含まれます。

Q：歯周病科に進むとした場合、将来大学院に行き、認定医を取るのが最もよいと思いますが、大学院に行かずに、認定医のみを取るという形で大学に残ることは可能なのでしょうか。

A：現在および来年度に関して、大学院に入らず歯周病認定医を取得するコースはありません。また、大学院において、研究をしない（論文を書かない）というコースはありません。

Q : 口腔再建外科, 顎顔面口腔外科に研修後, 残る方は大学院への進学の方がほとんどなのでしょうか。

A : 大学院進学に加え、後期専門研修医 (レジデント)、口腔外科 (口腔再建外科・顎顔面口腔外科) の医員などの進路があります。しかし、有給職は年度によって採用枠が異なるため、研修開始時に一年後にレジデント、医員に採用することについて確約することはできません。

Q : 研修医の期間, 1年間の間はプログラムAで研修をしていて, その後, 口腔再建外科, 顎顔面口腔外科に在籍をしている方はどのくらいいらっしゃいますか。

A : 多い年は3人、少ない年は0人、平均すると1~2人は口腔再建, あるいは顎顔面口腔外科に入局しています。

Q : 午後のみ参加させていただくことは可能だったのでしょうか。

A : 資料準備の都合上、午後だけ (協力型施設説明分のみ) の参加は認めておりません。

Q : 新潟大学に残る場合は, 大学院生以外の選択肢はありますかでしょうか。

A : 後期研修歯科医 (レジデント)、医員として各診療科に所属することができますが、いずれも定員があるため、予め採用を確約することはできません。

Q : 新潟大学の近くにある臨床研修の協力施設はないのでしょうか。

A : 新潟市内にもいくつか協力型施設がありますが、群内マッチングに影響する可能性があるため、ここで該当する施設名を挙げることは控えさせていただきます。